

美杉台の丘より

飯能市立美杉台中学校

令和2年3月4日(水)

文責 齊藤 国明

【学校教育目標】「笑顔 挨拶 学び合い」～活躍し続ける美中生～(鍛える 高め合う 挑戦する)

春に備える(その2)



～残念な思い～

本年度の学校生活の最後の朝を迎えました。登校してくる何人かの生徒の姿を車で追い越しながら、この当たり前の光景が明日から見られなくなるんだな、と言い知れぬ寂しさを覚えました。

6日(金)三送会。在校生が、感謝の思いを込めて3年生に出し物をプレゼントするはずでした。先週、2年生の元気な歌声が校長室まで響いてきていました。劇も完成しつつありました。1年生はステンドグラスを制作し、会場を飾る予定でした。私もそれぞれの学年の成長の姿を見届けるのを楽しみにしていました。

13日(金)卒業式。3年生にとっては義務教育が修了する節目。在校生にとっても、3年生の立派な門出の姿を眼に焼き付けながら、来る日のために心を整える大切な日でした。卒業式は延期となり、30日(月)に実施される予定ですが、在校生の参加は叶わなくなりました。

部活動、まだまだ仲間とともに今年度の活動が続くはずでした。先週の金曜日、その日が最後となるとは疑いもせずに行っていた朝練習が、今年度の最後の練習となってしまいました。残念だったことと思います。

～万全の予防策～

しかし、この緊急の対応は「安全・安心、そして命を守る」ことを最優先に考えた苦渋の選択です。新型コロナウイルスが、目に見えないところで猛威を振っています。どこまで危険が迫っているのかが不透明であるが故に、でき得る最大限の予防策を講じなければならないのです。飯能市の事業はほとんど全て、中止の措置がとられました。学校も明日から完全休校となりました。次にしなければならないことは、個人個人ができる限りの予防に努めることです。

具体的には、①不要不急の外出は控えること、②やむを得ず外出した時でも、できる限り混雑した場所を避けること、③帰宅時や食事前には石けんでいねいに手を洗うこと、④十分な睡眠とバランスよい食事を心がけ、免疫力を高めておくこと、などです。

一人一人が万全の予防策を講じ、この危機的状況を乗り切ってくれることを願ってやみません。

～来る日のために～

『朝の来ない夜はない』昭和の小説家・吉川英治さんの言葉です。その前文から紹介すると「たとえ、いかなる逆境、悲運にあおうとも、希望だけは失ってはならぬ。『朝の来ない夜はない』のだから。」ものごとは必ずいつか、よい方へ変わる、ということを意味しています。

今まさに国家の非常事態であると言っても過言ではありません。しかし、必ず平穏な日常が戻ってくる、そう信じて、臨時休校中を来る日のための準備期間にしてほしいと思っています。3年生は新たなステージに立つ準備を! 2年生は最上級生として、1年生は先輩となって美中の新しい歴史を担う準備を!

結びに、今年度の最後の日となる今日を、クラスの仲間や先生と大切に過ごしてください。

～保護者・地域の皆様へ～

生徒たちは明日からご家庭で過ごすことになります。規則正しい生活を送ることや、健康・安全面へのご配慮について何卒よろしく願いいたします。

地域の皆様におかれましては、子どもたちの地域の中での安全の見守りにつきまして、特段のご配慮をお願いいたします。なお、お気づきの点等がございましたら、何なりと右記までご連絡ください。

「朝の来ない夜はない」

吉川英治

昭和の小説家

飯能市立美杉台中学校

983-0121

THE FINAL DAY



放送講話に耳を傾ける三年生（3-A）



放送講話に耳を傾ける三年生（3-B）



体育の授業（3年）



家庭科の授業（1-A）



国語の授業（1-B）



理科の授業（1-C）



体育の授業（2-A）



数学の授業（2-B）



技術科の授業（2-C）



あさひ学級 プチ三送会

三学期始業式	二学期終業式	十一月講話朝会	十月講話朝会	二学期始業式	一学期終業式	六月講話朝会	五月講話朝会	入学式・始業式	平成三十一年度
「感謝の心」	「根積み」	外相整って、内相相すから熟す	人生の方程式「考へる・覚へる力」	心が変われば 運命が変わる	一の字 積の字 其だ畏る可し	心を整える	当たり前のことに心を込める	チャンス・チャレンジ・チェンジ	

今年1年、皆さんにお伝えしてきたこと